

温故創新

大熊町における
Qubena 導入・活用事例

福島県大熊町教育委員会

1 大熊町の紹介

大熊町は、福島県の太平洋に面する「浜通り」地域の真ん中に位置し、温暖な気候に恵まれた自然豊かな町です。



あの日... 平成23年3月11日 14時46分

東日本大震災による被害



約100km離れている会津若松市に全町避難し、平成23年4月16日(土)に、
幼・小・中 合同入園式・入学式を実施しました。



予想を超えた入園入校希望者 … 合計 **708** 名

- * 幼稚園 **135** 名(36.1%)
- * 小学校 **357** 名(48.6%)
- * 中学校 **216** 名(57.8%)



2 導入のきっかけ

「このままでは、子どもがゼロの町になってしまう…」

学校がなくなる → 町の存続に関わる

危機感

魅力ある学校づくり = 教育施設 + 教育内容

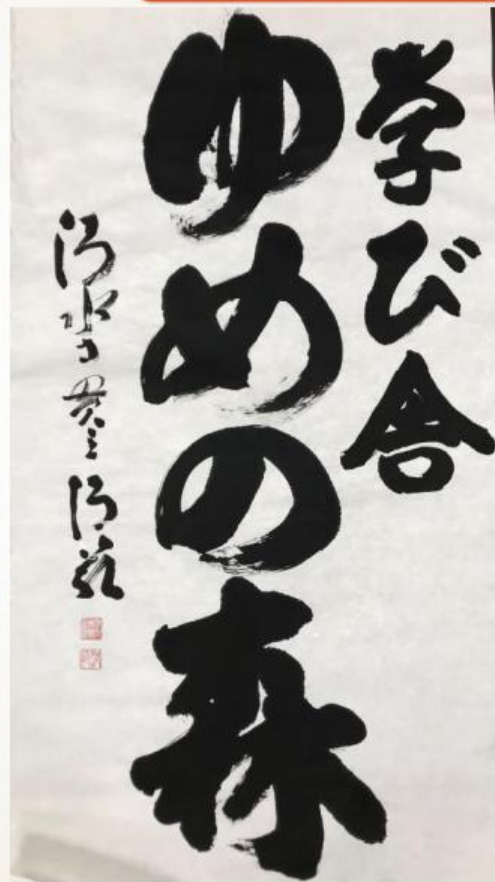
個別最適な学びを実現する校舎

■外観パース



令和5年(2023年)大熊町で学校再開

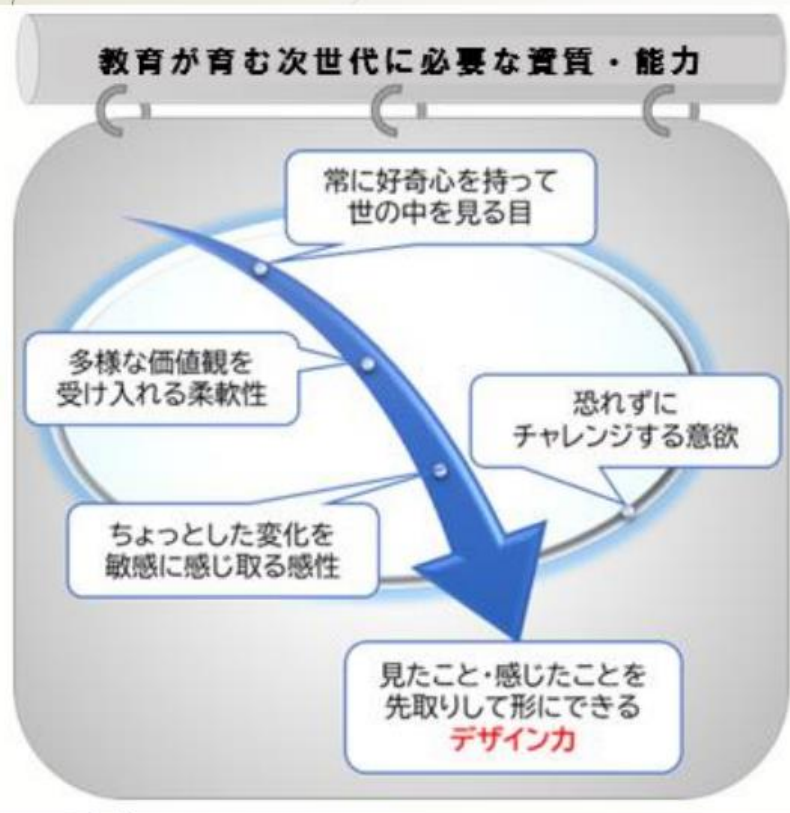
義務教育学校
「大熊町立 学び舎 ゆめの森」



清水寺 森清範 猊下に
揮毫していただきました。

教育の柱

大熊町の学校教育では...



～ デザイン力を育む自律した学びの展開 ～

多様性（多様な人との関わり・多様な学びの方法）

に対応した**個別最適な学び**

〔生涯幼稚園児〕



長野県 大日向小学校【イエナプランの理念に学ぶ】

+

東京都 麴町中学校【個別最適化に学ぶ】

↓

子どもたち自身が**目的意識**をもって、
主体的に学んでいく

↓

大熊ならではの教育の創造に挑戦
→ **Qubenaの導入**

3 導入初期の試行錯誤

○ うまくいったこと

- ・ 子どもたち → 興味をもって算数科の授業に取り組む
Qubenaで学んだことやその時間のまとめを自分の言葉でまとめる

○ 苦戦したこと

- ・ 今までの一斉の授業スタイルに組み込んだので、結局のところ、進むペースは同じ
→ 授業者の考えたルールの上での授業から脱却できない
- ・ 教科書から離れる不安
→ Qubenaが教科書のどの問題に対応して、どの問題に対応していないのか → 忙しさの増長・混沌

○ 改善に着手

- ・ 授業における一斉のめあてをなくす
- ・ Qubenaに任せる部分、Qubenaに任せない(人間が担う)部分の明確化

従来



導入期



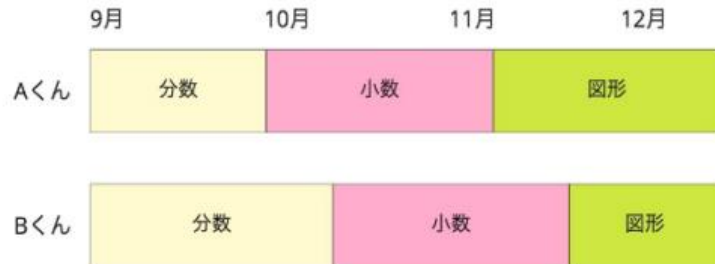
現在



- ・ 教科書
- ・ Qubena
- ・ 先生に質問
- ・ 学び合い
- ・ 要点をノートにまとめる



個別学習計画に繋げていきたい



変わる授業スタイル

一人一人が、
自分の目標をもとに、
自分のペースで、
自分に合った方法による学び



タブレット
(AI) で!



好きな場所で!



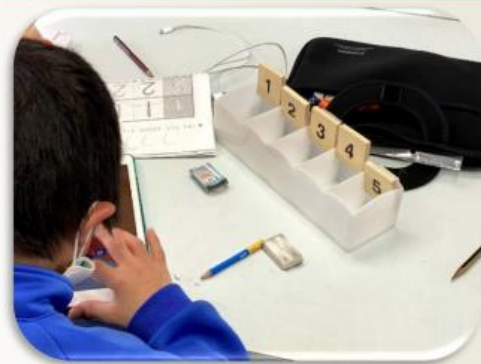
プリントで!



ゆるやかな協働性に支えられた学び
～個別に、そして、時に協働的に～

インクルーシブ教育

～多様性の尊重、ともに学ぶ安心感～



障がいのある子も
ない子も
ともに学ぶ





子どもたちの学びの様子をご覧ください。

4 実践してみても…

- 試行錯誤
- 子どもたちの変容
- 教師の変容

